

令和6年度 稲敷市立桜川中学校グランドデザイン

学習指導要領
いばらき教育プラン
学校教育指導方針

◆学校教育目標
知性に富み 心豊かで たくましい生徒の育成

稲敷市教育振興基本計画
「郷土を愛し 未来にはばたく
しなやかな人づくり」

◆めざす生徒像
心身ともに健康な生徒
自ら進んで学ぶ生徒
思いやりのある生徒

◆学校経営の努力事項
学び合う生徒の育成に努める。
支え合う心豊かな生徒の育成に努める。
地域とのふれあいを通し、開かれた学校づくりを推進する。
教職員の資質向上を図る。
安全・安心な学校づくりに努める。

◆めざす学校像
活力ある学校
創意ある学校
品格ある学校

組織目標 温かいつながりの中から一人一人のよさを認め、子どもの自己有用感を育む

確かな学力の育成

「学び合い」 豊かな学びを展開し、一人一人の学力の向上を図る

- 校内研修を充実させる。
 - 問いの発見と解決に重点を置く探究的な学びの推進
試行錯誤、アウトプット、振り返りの重視
 - ICT 機器の効果的な活用(タブレット端末、デジタル教科書を積極的に活用)
 - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の達成を目指す
「指導の個別化」と「学習の個性化」
- 学校司書と連携し、読書習慣を定着させる。
 - 記録カード記入の時間確保
 - 県「一冊の本事業」の達成
- 教育課程を工夫し学力の向上を図る。
 - スキルアップ問題を活用した基礎力の向上
 - 家庭学習強化月間
- 小中連携によるキャリア教育の充実
- NIE 教育の視点を取り入れた授業の充実

豊かな心の育成

「支え合い」 生徒の自治的活動を充実させ、豊かな心の育成を図る

- 生徒との温かな人間関係づくりに努める
 - よい行動を見逃さない教師の目
 - 「ありがとう」の声かけ
- 自己形成意識を育む黙働清掃を推進する
 - 黙働清掃の意義の再確認
 - 全職員による指導の継続
- 生徒が考え、計画する自治的活動の推進
 - 特別活動、生徒会活動の充実
 - 生徒会挨拶運動
 - 地域と連携したボランティア活動、地域貢献活動
- 「考え、議論する道徳」の推進
- Q-U 調査を活用した学級経営の充実
 - 不満足群 2 割減と要支援群の解消
 - 承認得点の向上を目指す
- 通常学級における特別支援教育の視点での関わり
 - 特性に応じた支援の工夫
 - 「特別支援教育巡回相談」の活用

生き方の育成

「地域とのふれ合い」 コミュニティスクール(学校運営協議会)により地域の教育力を生かす

- 地域の方々とともに活動し、生き方を学ぶ。
 - 桜川公民館と連携したボランティア活動
 - リサイクル品回収
 - マナーアップ運動
 - あいさつ運動
- 地域の人材から学ぶ。
 - 職場体験、福祉体験、施設訪問等
 - ゲストティーチャーの活用
 - 地域人材一覧の整備
- 情報の発信と収集を行う。
 - 各種たより等の発行
 - 学校ブログ(トピックス)の活用
- 地域の環境から学ぶ。
 - 天体ドームを活用した星空観察会
 - 野鳥観察等の活動
(自然環境と人材活用)

教職員の資質向上

- 校内研修の充実
- 安定し、安心して勤務できる職場環境の構築
- コンプライアンス意識を全員で共有「不祥事を出さない」
- 働きがいとの両立を目指し、教員が生き生きと業務にあたれる「働き方改革」の推進
 - 業務の効率化等により、生徒と向き合える時間を増やす。
(実感できる教員80%以上)

安全・安心な学校づくり

- きれいに整った学校づくり
- 地域の力を生かした安全・安心な学校づくり
- 安全・安心な登下校